

【実施主体】三菱総合研究所/清水建設株式会社

【対象施設】道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他 ()

【事業方式】コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他 (多分野連携の群マネ)

【タイトル】水辺利活用事業とインフラ維持管理事業を統合した多分野連携の群マネスキームの構築 (モデル構築地方公共団体：潮来市)

①調査概要

河川・水路を活用したまちづくり事業（収益事業）とインフラ維持管理事業（非収益事業）を組み合わせ、水辺利活用事業による収益（プロフィットシェア・河川占用料等）を維持管理財源へ還元する、多分野連携の群マネスキームの導入可能性を調査する。

インフラ維持管理事業における財源不足への対応に加え、制度面・事業面・収益面から成立可能性を整理し、水辺空間を活用した賑わい創出・地域価値向上、および予防保全型維持管理への転換を目指す。

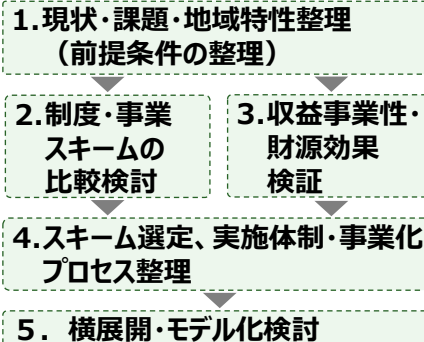
②実施方針・フロー

制度・収益・事業化を一体的に検討

実施方針

- ① 収益事業と維持管理事業を接続する多分野連携の群マネスキームの構築
- ② モデル自治体・事業関係者と密な連携、事業化を見据えた体制の構築
- ③ 事前調査による横展開の可能性の確保、汎用性の高い事業スキームの検討

実施フロー



③モデル構築地方公共団体概要

- 人口：25,909（令和7年度4月1日 住民基本台帳）
- 面積：71.40km²
- 立地：茨城県東南部

【課題やこれまでの検討状況】

インフラ維持管理

- 潮来市が管理する道路橋は令和6年度125橋、供用年数50年以上は46%
- 「潮来市橋梁長寿命化修繕計画」（令和7年3月策定）においては、「予防保全型」への転換を明確に掲げているものの財源の確保が課題。
- 社会保障等の費用が増加、新たな収益源の確保が必要

水辺利活用

- 「日本一の水路のまち基本計画」に基づき、水辺空間を活用したまちづくり・地域活性化を推進



④スキームの概要

受託者が、収益事業および非収益事業を一体的に担う事業スキームを想定し、収益事業からの還元を活用しつつ、インフラ維持管理を実施するモデルを検討する。

水辺利活用事業による収益を他インフラ維持管理事業へ充当する新たな多分野連携の群マネスキームにより、公共事業における財政負担軽減および予防保全の推進を目指す。

収益事業	● 河川占用許可の下、周辺のまちづくりと一体となった水辺利活用事業を展開（参加型・観戦型イベントの開催や連携等） ● 河川占用料および収益の一部を自治体へ還元（プロフィットシェア）
非収益事業	● 料金収入スキームを持たないインフラの維持管理費に還元額を補填（河川/道路/橋梁/道路付属物/公園 等） ● 還元額を考慮し、インフラの維持管理業務を委託（日常点検/長寿命化計画作成支援/補修 等）

想定事業スキーム

